

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	AC245／専門基礎 15 (Workshops for Academic Researchers 15)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	カルトグラフィ		
担当者名 (Instructor)	田中 雅大(TANAKA MASAHIRO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	HIS2640	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

#### 授業の目標(Course Objectives)

地図の概念、種類、作成・利用方法などを身につけ、社会生活の中でカルトグラフィ(地図学)を実践できるようになることを目指す。

The aims of this course are to learn the concepts, types, and methods of creating and using maps, and to be able to practice cartography in our social lives.

#### 授業の内容(Course Contents)

地図は学術的研究から日常生活まで幅広く利用されるツールであり、私たちの社会生活と密接に結びついている。本講義では、地図の歴史、概念、種類などの基本的な知識を紹介するとともに、地図の作成・利用に関する作業を行う。それらを通じて、カルトグラフィ(地図学)について総合的に学ぶ。

Maps are a tool widely used from academic research to everyday life, and are closely connected to our social lives. This course introduces basic knowledge of the history, concepts, and types of maps, and practice the creation and use of maps. Through these tasks, students will learn about cartography in a comprehensive way.

#### 授業計画(Course Schedule)

1. イントロダクション: 授業の概要を説明した後、初回の内容として地図・地図学とは何かについて講義する。
2. 地図・地図学の歴史: 西洋と日本における地図・地図学の歴史について講義する。
3. 地図の種類と基礎概念: 地図にはどのような種類があるか、また地図はどのような概念によって構成されているかについて講義する。
4. 国土を測り・描く: 基本図(主に地形図)はどのように作られてきたかについて講義する。
5. 地球を測り・描く: 球体である地球を平面上に表現する技法である投影法について講義する。
6. 地図表現の技法: 主題図(特定のテーマを色分けなどによって表現した地図)を作成するにあたって必要となる技法について講義する。
7. 地図利用①(自然分野): 国土地理院が刊行している地形図の読図について講義する。その後、作業を通じて自然条件の読み取りを行う。
8. 地図利用②(人文・社会分野): 主題図の読図について講義する。その後、作業を通じて人文・社会現象の読み取りを行う。
9. 地図のデジタル化①: デジタル地図や地理情報システム(GIS)の歴史、仕組み、可能性について講義する。
10. 地図のデジタル化②: インターネット上で使用可能なオンラインデジタル地図について講義する。その後、実際にオンラインデジタル地図を操作し、アナログ地図との違いについて考える。
11. 地図のデジタル化③: 地理情報システム(GIS)を利用した地図作成や空間分析について講義する。その後、実際に GIS を操作して主題図を作成する。
12. 地図と社会①: 私たちが頭で思い描く地図(メンタルマップ、認知地図)について紹介し、それが実際の地図の作成・利用とどのように関わっているかを講義する。
13. 地図と社会②: 地図の作成・利用をめぐる倫理的問題を紹介し、地図に対する批判的なアプローチについて講義する。
14. まとめ: 講義全体の内容を振り返り、最終レポートについて説明する。

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

授業時間外の学習に関する指示は、履修登録完了後に Blackboard 上で履修者に対して行う。

#### 成績評価方法・基準(Evaluation)

最終レポート(Final Report)(40%) / 講義中に指示する小レポート(30%) / 講義中に指示する作業課題(30%)  
成績評価を受けるためには、すべての作業課題・小レポートの提出が必要である。

#### テキスト(Textbooks)

なし

#### 参考文献 (Readings)

1. アーサー・H. ロビンソン [ほか] 共著; 永井信夫訳、1984、『地図学の基礎』、地図情報センター (ISBN:4807181092)
2. マーク・モンモニア著; 渡辺 潤訳、1995、『地図は嘘つきである』、晶文社 (ISBN:4794962185)
3. 浮田典良・森 三紀、2004、『地図表現ガイドブック: 主題図作成の原理と応用』、ナカニシヤ出版 (ISBN:4888488479)
4. 若林芳樹、2018、『地図の進化論: 地理空間情報と人間の未来』、創元社 (ISBN:9784422400372)

授業中に適宜紹介する。

#### その他(HP等) (Others(e.g.HP))

PowerPoint を使用した講義形式の授業であるが、回によっては受講生に作業を行ってもらう。地図の読み取りや作成に関する作業も行うため、色鉛筆(蛍光ペン・ボールペンは不可)等が必要となる。

#### 注意事項 (Notice)